

平成30年12月12日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

<p>標題</p>	<p>吉賀町産米「きぬむすめ」が高い評価！！ ～第20回記念大会米・食味分析鑑定コンクール：国際大会 in 飛騨～</p>
-----------	---

(ダイジェスト)

11月26～27日に、岐阜県高山市で「第20回記念大会米・食味分析鑑定コンクール：国際大会 in 飛騨」が開催され、吉賀町から出品された「きぬむすめ」2点が、それぞれ国際総合部門で特別優秀賞を、都道府県代表お米選手権で金賞を受賞しました。

岐阜県高山市で開催された本大会は、国際総合部門や都道府県代表お米選手権を含む全7部門に分かれており、今年はすべての部門を合計して国内外から5,717検体（うち島根県 117検体）の出品があり、過去最高の出品数となりました。

吉賀町産の2点は国際総合部門と都道府県代表お米選手権にそれぞれ出品され、一次及び二次審査の各種基準を満たして最終審査（国際総合部門は45検体、都道府県代表お米選手権では41検体（海外2検体含む））にノミネートされました。大会当日はノミネートされた検体について審査員による食味官能審査が行われ、国際総合部門では20検体が、都道府県代表お米選手権では18検体が最上位に当たる金賞となりました。

国際総合部門に出品した有機栽培生産者組織の「注連川の糧」のメンバーである潮氏は惜しくも金賞を逃しましたが、特別優秀賞を受賞。都道府県代表お米選手権においては金川氏が見事金賞を受賞しました。両氏とも品種は「きぬむすめ」で、全国のお米と比べても品質が良く、高い評価を得ました。

吉賀町は、国土交通省の全国一級河川の水質調査で過去に3度第1位に選ばれた高津川の水源地のある地域で、水稻においては、有機農業やこだわり米、町では地域ブランド化推進協議会を立ち上げるなど、幅広い活動が行われています。

普及部では、今後とも高品質な水稻栽培を支援していきます。



食味官能審査



各賞受賞者（左：金川氏、右：潮氏）